

インド株式フォーカス（奇数月分配型）

運用報告書（全体版）

第113期（決算日 2023年11月14日） 第114期（決算日 2024年1月15日） 第115期（決算日 2024年3月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「インド株式フォーカス（奇数月分配型）」は、2024年3月14日に第115期の決算を行ないましたので、第113期から第115期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 信託期間 | 2014年5月16日から2049年3月12日までです。 |
| 運用方針 | 主として、インド企業が発行する株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | 「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 第1計算期から第3計算期までは収益分配を行ないません。第4計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 |

<642347>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近27期の運用実績

| 決算期 | 基準 (分配落) | 標準価額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 投 資 信 託 組 入 比 | 純 資 産 額 |
|-------------------|-------------|--------|--------|------------------|------------------|--------|---------------------------------|------------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 期 騰 落 | | | | |
| | 円 | | 円 | | | % | % | 百万円 |
| 89期(2021年10月14日) | 10,115 | | 60 | | | — | 96.5 | 1,324 |
| 90期(2021年11月15日) | 10,063 | | 60 | | | — | 96.8 | 1,365 |
| 91期(2021年12月14日) | 9,380 | | 60 | △ | 6.2 | — | 96.0 | 1,299 |
| 92期(2022年1月14日) | 9,954 | | 60 | | 6.8 | — | 96.2 | 1,369 |
| 93期(2022年2月14日) | 9,372 | | 60 | △ | 5.2 | — | 96.5 | 1,292 |
| 94期(2022年3月14日) | 8,796 | | 60 | △ | 5.5 | — | 96.9 | 1,218 |
| 95期(2022年4月14日) | 9,662 | | 60 | | 10.5 | — | 95.6 | 1,350 |
| 96期(2022年5月16日) | 8,756 | | 60 | △ | 8.8 | — | 96.1 | 1,242 |
| 97期(2022年6月14日) | 8,966 | | 60 | | 3.1 | — | 96.4 | 1,297 |
| 98期(2022年7月14日) | 9,110 | | 60 | | 2.3 | — | 96.7 | 1,325 |
| 99期(2022年8月15日) | 9,653 | | 60 | | 6.6 | — | 96.6 | 1,393 |
| 100期(2022年9月14日) | 10,600 | | 60 | | 10.4 | — | 96.4 | 1,525 |
| 101期(2022年10月14日) | 9,937 | | 60 | △ | 5.7 | — | 96.7 | 1,436 |
| 102期(2022年11月14日) | 9,950 | | 60 | | 0.7 | — | 96.7 | 1,465 |
| 103期(2022年12月14日) | 9,540 | | 60 | △ | 3.5 | — | 96.4 | 1,426 |
| 104期(2023年1月16日) | 8,820 | | 60 | △ | 6.9 | — | 96.6 | 1,381 |
| 105期(2023年2月14日) | 8,717 | | 60 | △ | 0.5 | — | 96.4 | 1,407 |
| 106期(2023年3月14日) | 8,444 | | 60 | △ | 2.4 | — | 96.0 | 1,404 |
| 107期(2023年4月14日) | 8,603 | | 60 | | 2.6 | — | 97.0 | 1,440 |
| 108期(2023年5月15日) | 8,753 | | 60 | | 2.4 | — | 96.1 | 1,485 |
| 109期(2023年6月14日) | 9,304 | | 60 | | 7.0 | — | 97.0 | 1,596 |
| 110期(2023年7月14日) | 9,577 | | 60 | | 3.6 | — | 96.0 | 1,669 |
| 111期(2023年8月14日) | 9,828 | | 60 | | 3.2 | — | 96.7 | 1,747 |
| 112期(2023年9月14日) | 10,244 | | 60 | | 4.8 | — | 96.3 | 1,830 |
| 113期(2023年11月14日) | 10,318 | | 120 | | 1.9 | — | 96.4 | 1,859 |
| 114期(2024年1月15日) | 11,002 | | 120 | | 7.8 | — | 95.9 | 2,112 |
| 115期(2024年3月14日) | 11,027 | | 120 | | 1.3 | — | 97.5 | 2,409 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

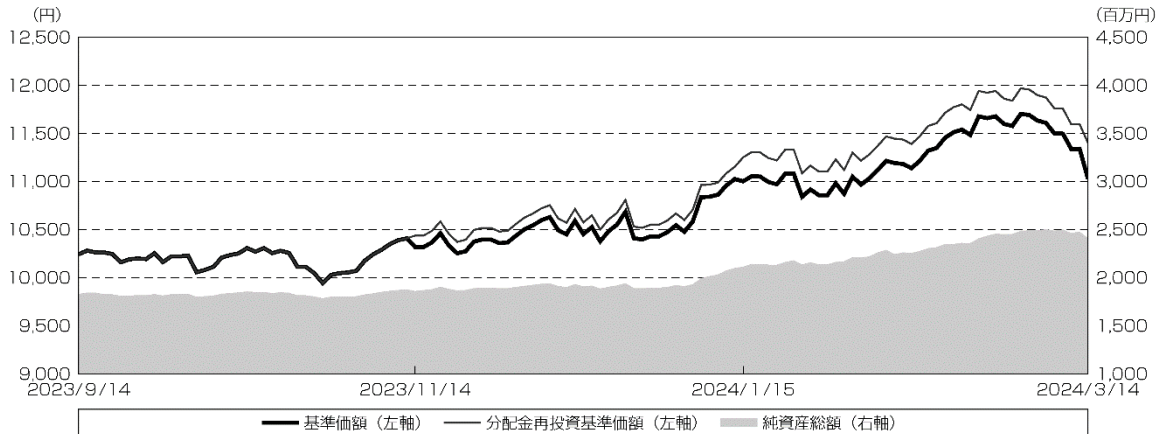
| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | | 投 資 信 託 証 組 入 比 率 |
|-------|----------------------|-------------|-------|--------|-------------------|
| | | | 騰 落 | 率 | |
| 第113期 | (期 首) 2023年9月14日 | 円 10,244 | | % — | % 96.3 |
| | 9月末 | 10,162 | | △0.8 | 96.7 |
| | 10月末 | 10,047 | | △1.9 | 96.7 |
| | (期 末) 2023年11月14日 | 10,438 | | 1.9 | 96.4 |
| 第114期 | (期 首) 2023年11月14日 | 10,318 | | — | 96.4 |
| | 11月末 | 10,367 | | 0.5 | 96.7 |
| | 12月末 | 10,478 | | 1.6 | 96.6 |
| | (期 末) 2024年1月15日 | 11,122 | | 7.8 | 95.9 |
| 第115期 | (期 首) 2024年1月15日 | 11,002 | | — | 95.9 |
| | 1月末 | 10,873 | | △1.2 | 94.9 |
| | 2月末 | 11,599 | | 5.4 | 95.5 |
| | (期 末) 2024年3月14日 | 11,147 | | 1.3 | 97.5 |

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年9月15日～2024年3月14日）

作成期間中の基準価額等の推移



第113期首： 10,244円
 第115期末： 11,027円（既払分配金（税込み）：360円）
 騰落率： 11.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年9月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、インドの企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・ Prestige EstateやPhoenix Millsなど不動産株式の投資比率を高めとしていたこと。
- ・ TVS Motors、Bajaj Auto、Zomato、Dixon Limitedなど一般消費財・サービスセクターの銘柄の投資比率を高めとしていたこと。
- ・ HDFC Bank LimitedやOne 97 Communicationsなど金融銘柄の投資比率を低めとしていたこと。

<値下がり要因>

- ・Tata Motors、Trent Limitedなどの一般消費財・サービスセクターの投資比率を低めとしていたこと。
- ・REC Limited、Power Grid Corporationの投資比率を低めとしていたこと。

投資環境

（株式市況）

市場で米国連邦準備制度理事会（FRB）の利上げサイクルが続くとの見方が広がるなか、市場のボラティリティ（変動性）は高止まりしました。

JPMorganは、グローバル債券インデックスの新興国債券インデックスシリーズ（GBI-EM）にインド国債を組み入れることを発表しました。インデックスへの採用から予想される資金流入額は、インデックス全体にわたり320億アメリカドルに達するとみられます。さらに、アクティブ運用の投資家からの追加資金流入も見込まれます。この資金流入により、インドの債券利回りとアメリカドル／インドルピー相場の両方において上方リスクは低減する可能性があります。

国際通貨基金（IMF）は、2023年10月にインドの2023年度（2023年4月～2024年3月）の国内総生産（GDP）成長率予想を、需要拡大により6.1%から6.3%へと引き上げ、経常赤字の見通しは2023年度と2024年度の両方においてGDP比1.8%で安定的に推移するとの見方を示しました。

州議会選挙で、インド人民党（BJP）は4州のうち3州（マディヤプラデシュ州、ラジャスタン州、チャッティスガル州）で勝利する一方、国民会議派（INC）はテランガナ州で地域政党のインド国民評議会（BRS）から政権を奪取しました。BJPが4州のうち3州で勝利して優勢となったことを受けて、インド株式市場は2023年12月に上昇しました。投資家の間では、政策の安定性や継続的な設備投資の推進が見込まれることが好感されました。

インド政府は、2024年2月に発表した暫定予算で、財政の質の向上を図るために、財政健全化と歳出の合理化を優先する方針を示しました。2024年度の財政赤字はGDP比5.1%（前年度は5.8%）を目標としており、2025年度までに目標の4.5%を達成することが見込まれます。財政健全化への注力がさらに鮮明となったことが見受けられたのは、(1) 補助金が前年比8%減となったこと、(2) 農村部の社会セクター計画が前年比6%増と小幅な伸びとなったこと、(3) 防衛、鉄道、道路などの設備投資の伸びが前年比5%増にとどまったことなどでした。

政府のセクター別の政策案は、(1) 農村部および都市部の住宅支援、(2) 貧困世帯への液化石油ガス（LPG）の供給支援、(3) バイオビリティ・ギャップ・ファンディング（補助金による補填）を通じた新たな分野（クリーンエネルギー）への民間投資の促進、(4) 送電に関する投資拡大、(5) 鉄道による3つの主要な経済回廊の実行に関するものとなっています。同時に、防衛、肥料、鉄道、道路、都市インフラなどのセクターにわたって、設備投資の伸びの鈍化が鮮明となっています。

政府が発表した暫定予算は非常に印象的で、総選挙を控えながらも、財政健全化に向けた積極的な目標が掲げられています。政府は選挙前の予算の段階から大衆迎合的な発表を控えており、歳入見通しは堅実かつ信頼できる方法で行なわれています。

2023年10～12月のGDP成長率は8.4%となり（その前の四半期は8.1%で、7.6%から上方修正）、GVA（各産業の付加価値を積み上げた粗付加価値）の伸びは6.5%となりました。この大きな差は、純間接税（間接税から補助金を差し引いたもの）が増加したことによるものです。個人消費の伸びは抑制された状態が続いたものの、投資の伸び（前四半期の11.6%に対して10.6%）がGDP成長率のけん引役となりました。GVAの伸びのけん引役となったのは、サービス業全般の底堅さでした。一方、農業および工業分野は鈍化しました。

インド統計局は、2023年度のGDP成長率を7.6%（従来予想は7.3%）へと上方修正する一方、GVA成長率は6.9%に維持しました。こうしたなか、2024年1—3月期の実質GDP成長率とGVA成長率は、それぞれ5.9%、5.4%へと鈍化することが予想されています。

2024年1月のインフレ率は5.1%となり、2023年12月の5.7%から減速しました。製造業の活動が主な要因となり、2023年12月の鉱工業生産の伸びは11月の前年同月比2.4%増から同3.8%増へと加速しました。また、2024年1月の卸売物価指数（WPI）は前年同月比0.3%へと減速しました（2023年12月は同0.7%）。1月のモノの貿易収支は、輸出が369億アメリカドル、輸入は544億アメリカドルとなり、赤字幅が175億アメリカドルへと縮小しました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.14%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における円／インドルピー相場は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドでは、収益性を追求するため、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

現在、当ファンドでは、民間の大手銀行を中心とした金融、一般消費財・サービス、不動産、病院を中心としたヘルスケアセクターの投資比率を高めとする一方、素材、公益事業、および生活費需品セクターの投資比率を低めに維持しています。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

| 項 目 | 第113期 | 第114期 | 第115期 |
|-----------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| | 2023年9月15日～ 2023年11月14日 | 2023年11月15日～ 2024年1月15日 | 2024年1月16日～ 2024年3月14日 |
| 当期分配金 | 120 | 120 | 120 |
| （対基準価額比率） | 1.150% | 1.079% | 1.077% |
| 当期の収益 | 120 | 120 | 87 |
| 当期の収益以外 | — | — | 32 |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,199 | 4,846 | 4,817 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、原則として「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA）

インドの2023年4—6月期のGDP成長率は、個人消費や投資、サービスなどの内需が好調となったことを受けて、前四半期の前年同期比6.1%から同7.8%へと市場予想通り加速しました。7月—9月期のGDP成長率は前年同期比7.6%へと減速しました。減速の理由としては、8月のモンスーンによる雨量が少なかったことや食品インフレの高まりです。足元では、インド経済の成長基調は維持されており、2023年度のGDP成長率予想は7.6%へと引き上げられました。

マクロ指標では、消費者物価指数（CPI）上昇率が低下するとともに鉱工業生産の伸びが底堅く推移するなど、景気が過熱も冷え込みもしない適度な状況が引き続き示唆されています。コアインフレは幾分加速しているものの、緩やかな減速傾向を示しています。鉱工業生産の伸びが全般的に高まっていることは、外需が低迷するなかでも、低インフレや国内の設備投資の高まりによって産業活動が下支えされていることを示しています。インドの経済成長は、世界経済の成長鈍化や利上げの影響が遅れて出ることによりやや減速する可能性があるものの、こうしたなかでも経済成長は底堅いと予想しています。

経済成長の鈍化に加えてコアインフレの減速や政府による供給政策の積極化が見込まれることから、流動性の引き締めは引き続き政策手段であるものの、インド準備銀行（RBI、中央銀行）が食品インフレの上昇に利上げで対応することはないと予想しています。当ファンドでは、政策金利は長期にわたり据え置かれていますが、2024年内に利下げが実施されると予想しています。

より長期的な観点では、足元のボラティリティが高まっている局面では、インドのクオリティーの高い企業の銘柄を購入する好機と言えます。フリーキャッシュフローが潤沢で、負債比率が低く、資本利益率が高い企業に引き続き注目しています。足元では、民間の大手銀行を中心とした金融セクター、自動車をはじめとする一般消費財・サービスセクターの投資比率を高めとしています。また、バリュエーション（価値評価）を考慮して生活必需品セクターの投資比率を低めに維持しています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月15日～2024年3月14日)

| 項 目 | 第113期～第115期 | | 項 目 の 概 要 |
|-------------------------|-------------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 | % | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (10) | (0.093) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (46) | (0.438) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.016) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 5 | 0.050 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷 費 用 等) | (5) | (0.048) | 印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など |
| 合 計 | 63 | 0.597 | |
| 作成期間の平均基準価額は、10,587円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

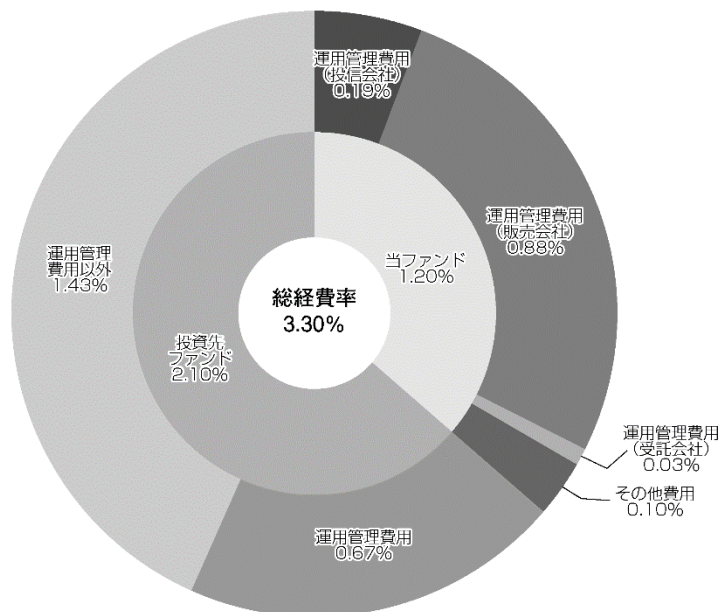
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.30%です。



(単位：%)

| | |
|----------------------|------|
| 総経費率 (①+②+③) | 3.30 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 1.20 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.67 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 1.43 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月15日～2024年3月14日)

投資信託証券

| 銘 柄 | | 第113期～第115期 | | | |
|-----|---|---------------|---------------|--------------|---------------|
| | | 買 付 | | 売 付 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 国内 | Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA | 千口 148,712 | 千円 491,109 | 千口 32,903 | 千円 105,749 |

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | | 第113期～第115期 | | | |
|-----|-------------------|-------------|-----------|----------|----------|
| | | 設 定 | | 解 約 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | マネー・アカウント・マザーファンド | 千口 804 | 千円 805 | 千口 50 | 千円 50 |

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月15日～2024年3月14日)

利害関係人との取引状況

<インド株式フォーカス（奇数月分配型）>

| 区 分 | 第113期～第115期 | | | | | |
|--------|-------------|--------------------|---------------|------------|--------------------|---------------|
| | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
| 投資信託証券 | 百万円 491 | 百万円 491 | % 100.0 | 百万円 105 | 百万円 105 | % 100.0 |

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年9月15日～2024年3月14日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2023年9月15日～2024年3月14日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2024年3月14日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| 銘柄 | 第112期末 口数 | 第115期末 | | |
|---|---------------|---------------|-----------------|-----------|
| | | 口数 | 評価額 | 比率 |
| Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA | 千口 590,960 | 千口 706,769 | 千円 2,349,583 | % 97.5 |
| 合計 | 590,960 | 706,769 | 2,349,583 | 97.5 |

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

| 銘柄 | 第112期末 口数 | 第115期末 | |
|-------------------|--------------|-------------|-------------|
| | | 口数 | 評価額 |
| マネー・アカウント・マザーファンド | 千口 1,731 | 千口 2,485 | 千円 2,489 |

（注）親投資信託の2024年3月14日現在の受益権総口数は、449,955千口です。

○投資信託財産の構成

（2024年3月14日現在）

| 項目 | 第115期末 | |
|-------------------|-----------------|-----------|
| | 評価額 | 比率 |
| 投資証券 | 千円 2,349,583 | % 93.4 |
| マネー・アカウント・マザーファンド | 2,489 | 0.1 |
| コール・ローン等、その他 | 163,714 | 6.5 |
| 投資信託財産総額 | 2,515,786 | 100.0 |

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第113期末 | 第114期末 | 第115期末 |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| | 2023年11月14日現在 | 2024年1月15日現在 | 2024年3月14日現在 |
| | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 1,890,926,521 | 2,217,426,207 | 2,515,786,266 |
| コール・ローン等 | 73,209,295 | 188,467,877 | 163,712,340 |
| 投資証券(評価額) | 1,792,336,484 | 2,026,930,182 | 2,349,583,973 |
| マネー・アカウント・マザーファンド(評価額) | 1,780,817 | 2,028,148 | 2,489,953 |
| 未収入金 | 23,599,925 | — | — |
| (B) 負債 | 31,267,194 | 104,712,746 | 106,235,220 |
| 未払金 | — | 50,566,723 | 56,805,604 |
| 未払収益分配金 | 21,627,345 | 23,044,144 | 26,221,461 |
| 未払解約金 | 5,207,655 | 26,120,932 | 17,389,137 |
| 未払信託報酬 | 3,357,238 | 3,592,811 | 4,074,845 |
| 未払利息 | 18 | 26 | 13 |
| その他未払費用 | 1,074,938 | 1,388,110 | 1,744,160 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 1,859,659,327 | 2,112,713,461 | 2,409,551,046 |
| 元本 | 1,802,278,765 | 1,920,345,357 | 2,185,121,826 |
| 次期繰越損益金 | 57,380,562 | 192,368,104 | 224,429,220 |
| (D) 受益権総口数 | 1,802,278,765口 | 1,920,345,357口 | 2,185,121,826口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,318円 | 11,002円 | 11,027円 |

(注) 当ファンドの第113期首元本額は1,786,576,788円、第113～115期中追加設定元本額は765,598,723円、第113～115期中一部解約元本額は367,053,685円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第113期1.0318円、第114期1.1002円、第115期1.1027円です。

○損益の状況

| 項 目 | 第113期 | 第114期 | 第115期 |
|------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| | 2023年9月15日～ 2023年11月14日 | 2023年11月15日～ 2024年1月15日 | 2024年1月16日～ 2024年3月14日 |
| | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | 3,551,757 | 6,987,677 | 7,301,356 |
| 受取配当金 | 3,553,610 | 6,988,665 | 7,302,263 |
| 受取利息 | 40 | - | - |
| 支払利息 | △ 1,893 | △ 988 | △ 907 |
| (B) 有価証券売買損益 | 35,537,135 | 143,788,023 | 16,288,871 |
| 売買益 | 35,639,183 | 145,961,540 | 20,053,419 |
| 売買損 | △ 102,048 | △ 2,173,517 | △ 3,764,548 |
| (C) 信託報酬等 | △ 3,662,401 | △ 3,919,390 | △ 4,445,244 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 35,426,491 | 146,856,310 | 19,144,983 |
| (E) 前期繰越損益金 | 236,449,437 | 238,441,521 | 327,445,468 |
| (F) 追加信託差損益金 | △192,868,021 | △169,885,583 | △ 95,939,770 |
| (配当等相当額) | (506,592,447) | (568,354,909) | (732,307,765) |
| (売買損益相当額) | (△699,460,468) | (△738,240,492) | (△828,247,535) |
| (G) 計(D+E+F) | 79,007,907 | 215,412,248 | 250,650,681 |
| (H) 収益分配金 | △ 21,627,345 | △ 23,044,144 | △ 26,221,461 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 57,380,562 | 192,368,104 | 224,429,220 |
| 追加信託差損益金 | △192,868,021 | △169,885,583 | △ 95,939,770 |
| (配当等相当額) | (506,592,447) | (568,354,909) | (732,307,765) |
| (売買損益相当額) | (△699,460,468) | (△738,240,492) | (△828,247,535) |
| 分配準備積立金 | 250,248,583 | 362,253,687 | 320,368,990 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年9月15日～2024年3月14日)は以下の通りです。

| 項 目 | 2023年9月15日～ 2023年11月14日 | 2023年11月15日～ 2024年1月15日 | 2024年1月16日～ 2024年3月14日 |
|------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 3,218,807円 | 6,806,192円 | 5,925,543円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 32,207,684円 | 140,050,118円 | 13,219,440円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 506,592,447円 | 568,354,909円 | 732,307,765円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 236,449,437円 | 238,441,521円 | 327,445,468円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 778,468,375円 | 953,652,740円 | 1,078,898,216円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 4,319円 | 4,966円 | 4,937円 |
| g. 分配金 | 21,627,345円 | 23,044,144円 | 26,221,461円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 120円 | 120円 | 120円 |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

| | 第113期 | 第114期 | 第115期 |
|-----------------|-------|-------|-------|
| 1 万口当たり分配金（税込み） | 120円 | 120円 | 120円 |

○お知らせ

約款変更について

2023年9月15日から2024年3月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、収益分配の頻度が毎月分配（年12回）で、かつ信託期間が「2029年3月14日まで」となっておりましたが、2024年1月以降の新NISA制度における成長投資枠の登録要件において、法令上は収益分配の頻度が1ヵ月以下の期間ごととされていない（収益分配の頻度が年12回より少ない）必要があり、また残存する信託期間も20年以上とすることが求められております。こうした状況を受けて、弊社では、当ファンドを新NISA制度における成長投資枠の登録要件に適合させるため、以下の通り、2023年9月15日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - A. 収益分配の頻度を「毎月分配（年12回）」から「隔月分配（年6回）」へ変更するとともに、決算日を「毎月14日（休業日の場合は翌営業日）」から「毎年1、3、5、7、9、11月の各14日（休業日の場合は翌営業日）」に変更いたしました。（第29条、附則第3条）
 - B. 上記Aの変更に伴ない、ファンド名称を「インド株式フォーカス（毎月分配型）」から「インド株式フォーカス（奇数月分配型）」に変更いたしました。（信託の名称）
 - C. 2024年1月時点において残存する信託期間が25年以上となるよう、信託終了日を「2029年3月14日」から「2049年3月12日」に変更いたしました。（第4条）
- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、投資対象ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年9月15日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（附表）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

| 種類・項目 | Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A | |
|-----------|---|--|
| | モーリシャス籍円建外国投資法人 | |
| 運用の基本方針 | | |
| 基本方針 | 主として、インド企業の株式に分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。 | |
| 主な投資対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・インド企業の発行するインド・ルピー建株式 ・インド企業の発行する当該株式を裏付けとした預託証券（DR） ・インド・ルピー建あるいは米ドル建の流動性の高い短期金融資産 | |
| 投資方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・主として、ムンバイの金融商品取引所に上場しているインド企業のインド・ルピー建株式を投資対象とし、分散投資することにより長期的な信託財産の成長を目標に運用を行ない、インドの高度成長を享受することをめざします。 ・純資産総額の 80%以上をインド・ルピー建株式および当該株式を裏付け資産とした預託証券（DR）に投資します。 ・リスクヘッジのため派生商品、主に先物取引に投資する可能性があります。主な投資対象ではありません。 ・外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。 ・ただし、市況動向や資金動向その他の要因によっては、上記のような運用ができない場合があります。 | |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1銘柄の組入れは、原則として純資産総額の 25%を限度として投資します。 ・ 投資信託証券への投資は、純資産総額の 5%を上限とします。 ・ 借入残高の合計金額が、純資産総額の 10%未満の範囲で借入れを行なう場合があります。 | |
| 収益分配 | 原則として、毎月分配を行いません。なお、運用会社の判断により収益分配を行わないことがあります。 | |
| ファンドに係る費用 | | |
| 信託報酬など | 純資産総額に対し年率 0.7%（国内における消費税等相当額はかかりません。） | |
| 申込手数料 | ありません。 | |
| 信託財産留保額 | 解約時の基準価額に対し 0.5%（1口当たり） | |
| その他の費用など | 事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。 | |
| その他 | | |
| 運用会社 | 日興アセットマネジメント アジア リミテッド | |
| 信託期間 | 無期限 | |
| 決算日 | 原則として、毎年 3 月 31 日 | |

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd

包括利益計算書

2023年3月31日までの1年間

単位：日本円

収益

| | |
|---------------------------------------|--------------|
| 受取配当金 | 29,219,595 |
| 損益を通じて公正価値評価される金融資産の公正価値の純変動額 為替差益 | (20,258,842) |
| | 8,759,559 |

純収益合計

17,720,312

費用

| | |
|---------|------------|
| 投資運用報酬 | 21,920,955 |
| 取引費用 | 21,933,175 |
| 管理報酬 | 11,451,652 |
| 税金費用 | 4,738,368 |
| 監査報酬 | 2,908,723 |
| 保管費用 | 2,233,563 |
| 取締役報酬 | 1,083,573 |
| 銀行手数料 | 928,953 |
| ライセンス料 | 575,520 |
| 専門家報酬 | 122,980 |
| 現金保管手数料 | 270,914 |

費用合計

68,168,376

運用（損失）利益

(50,448,064)

金融費用

| | |
|----------------|--------------|
| クラスA投資主に対する分配金 | (87,403,035) |
|----------------|--------------|

税引前（損失）利益

(137,851,099)

税合計

(7,097,416)

運用によるクラスA投資主に帰属する純資産の減少／増加

(144,948,515)

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd
 財政状態計算書
 2023年3月31日現在

単位：日本円

資産

流動資産

| | |
|---------------------|---------------|
| 損益を通じて公正価値評価される金融資産 | 2,356,940,249 |
| 受取債権 | 36,319,819 |
| 現金および現金同等物 | 439,699,107 |

資産合計

2,832,959,175

資本

| | |
|---------------|--------|
| 投資主資本 — 出資者持分 | 11,619 |
|---------------|--------|

資本合計

11,619

負債

流動負債

| | |
|------------------------|------------|
| 未払所得税 | 946,584 |
| キャピタル・ゲイン税金負債 | 22,614,554 |
| 支払債務 | 34,960,966 |
| 負債（クラスA投資主に帰属する純資産を除く） | 58,522,104 |

| | |
|-----------------|---------------|
| クラスA投資主に帰属する純資産 | 2,774,425,452 |
|-----------------|---------------|

| | |
|-----------|---------------|
| 負債および資本合計 | 2,832,959,175 |
|-----------|---------------|

| | |
|----------------|---------------|
| クラスA投資証券の発行済残高 | 1,163,530,566 |
|----------------|---------------|

| | |
|--------------------|--------|
| クラスA投資証券1口当たり純資産価額 | 2.3845 |
|--------------------|--------|

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd
 クラス A 投資主に帰属する純資産変動計算書
 2023年3月31日までの1年間

| | 口数 | 単位：日本円 |
|------------------------------|---------------|---------------|
| 期首現在のクラス A 投資主に帰属する純資産 | 1,235,731,326 | 3,096,956,017 |
| クラス A 投資証券の発行による受取代金 | 100,428,596 | 250,771,529 |
| クラス A 投資証券の買戻による支払代金 | (207,006,618) | (515,756,614) |
| 分配金自動再投資の受取代金 | 34,377,262 | 87,403,035 |
| 証券取引による純減少 | (72,200,760) | (177,582,050) |
| 運用によるクラス A 投資主に帰属する純資産の減少／増加 | — | (144,948,515) |
| 包括（損）益合計 | — | (144,948,515) |
| 期末現在のクラス A 投資主に帰属する純資産 | 1,163,530,566 | 2,774,425,452 |

資本は出資者持分のみで構成されている。出資者持分は変更がないことから、取締役会の意見では資本変動に関する十分な情報は記載されており、したがって、2023年については資本変動計算書を作成していない。

損益を通じて公正価値評価される金融資産の一覧表

2023年3月31日現在

| 保有株数 | 銘柄 | 市場価格 | 純資産に対する割合 (%) |
|----------------------|-------------------------------|--------------------|---------------|
| <i>エンジニアリング/情報技術</i> | | | |
| 13,060 | TATA Consultancy Services Ltd | 67,803,877 | 2.44 |
| 19,000 | Tech Mahindra Ltd | 33,902,947 | 1.22 |
| 6,400 | ABB India Ltd | 34,877,535 | 1.26 |
| 9,910 | LTIMINDTREE Ltd | 76,385,346 | 2.75 |
| | | <u>212,969,705</u> | <u>7.67</u> |
| <i>銀行</i> | | | |
| 30,700 | Axis Bank | 42,681,537 | 1.54 |
| 64,000 | HDFC Bank | 166,819,119 | 6.01 |
| 145,000 | ICICI Bank | 205,993,139 | 7.42 |
| 10,000 | Kotak Mahindra Bank Ltd | 28,062,241 | 1.01 |
| 34,300 | Indusind Bank Limited | 59,320,720 | 2.14 |
| 280,000 | Federal Bank Ltd | 59,990,054 | 2.16 |
| 109,000 | Mahindra & Mahindra Fin Secs | 40,890,289 | 1.47 |
| | | <u>603,757,099</u> | <u>21.75</u> |
| <i>電子機器</i> | | | |
| 91,000 | Infosys Technology | 210,433,931 | 7.58 |
| 82,000 | Zensar Technologies | 36,431,763 | 1.31 |
| | | <u>246,865,694</u> | <u>8.89</u> |
| <i>医薬品</i> | | | |
| 91,000 | Sun Pharmaceuticals Inds Ltd | 144,877,340 | 5.22 |
| 18,000 | Torrent.Pharma Ltd | 44,807,440 | 1.61 |
| 46,000 | Dabur India Ltd | 40,591,586 | 1.46 |
| | | <u>230,276,366</u> | <u>8.29</u> |

| 保有株数 | 銘柄 | 市場価格 | 純資産に対する 割合 (%) |
|---------|---|-------------|-------------------|
| | <i>多角化企業</i> | | |
| 46,720 | Reliance Industries Ltd | 176,366,379 | 6.35 |
| | <i>インフラストラクチャー</i> | | |
| 6,220 | Maruti Suzuki India Ltd | 83,525,467 | 3.01 |
| 37,000 | Mahindra & Mahindra Ltd | 69,427,912 | 2.50 |
| 61,400 | UNO Minda Ltd | 47,827,185 | 1.72 |
| 172,000 | Ashok Leyland Limited | 38,772,969 | 1.40 |
| | | 239,553,533 | 8.63 |
| | <i>エネルギー</i> | | |
| 73,000 | Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd | 34,637,924 | 1.25 |
| | <i>金融</i> | | |
| 2,800 | Bajaj Finserv Ltd. | 25,468,566 | 0.92 |
| 30,700 | CreditAccess Grameen | 45,500,457 | 1.64 |
| 55,000 | HDFC Life Insurance Co Ltd | 44,462,988 | 1.60 |
| | | 115,432,011 | 4.16 |

| 保有株数 | 銘柄 | 市場価格 | 純資産に対する 割合 (%) |
|-----------------------|------------------------------|---------------|-------------------|
| | <i>その他</i> | | |
| 24,400 | Oberoi Realty Ltd | 33,294,512 | 1.20 |
| 5,500 | Ultratech Cement Ltd | 67,889,335 | 2.45 |
| 35,200 | Cholamandalam Investment | 43,397,016 | 1.56 |
| 18,010 | Phoenix Mills Limited | 37,943,352 | 1.37 |
| 22,600 | Tata Consumer Products | 25,943,237 | 0.93 |
| 109,000 | Bharti Airtel Limited | 132,211,640 | 4.76 |
| 50,500 | Indian Hotels Co Limited | 26,525,688 | 0.96 |
| 64,000 | Balrampur Chini Mills Ltd. | 41,016,847 | 1.48 |
| 10,000 | Titan Company | 40,726,970 | 1.47 |
| 30,700 | Godrej Consumer Products Ltd | 48,132,941 | 1.73 |
| | | <hr/> | |
| | | 497,081,538 | 17.91 |
| | | <hr/> | |
| 損益を通じて公正価値評価される金融資産合計 | | 2,356,940,249 | 84.90 |
| | | <hr/> | |

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第14期（決算日 2023年10月12日）
（2022年10月13日～2023年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 信託期間 | 2009年10月30日から原則無期限です。 |
| 運用方針 | 公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 |
| 主要運用対象 | わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。 |

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 率 | 純 資 産 額 |
|------------------|--------|-------|------|-----------|---------|
| | | 騰 落 率 | 中 率 | | |
| 10期(2019年10月15日) | 円 | | % | % | 百万円 |
| | 10,028 | | △0.0 | — | 586 |
| 11期(2020年10月12日) | 10,025 | | △0.0 | — | 888 |
| 12期(2021年10月12日) | 10,023 | | △0.0 | — | 1,125 |
| 13期(2022年10月12日) | 10,022 | | △0.0 | — | 560 |
| 14期(2023年10月12日) | 10,018 | | △0.0 | — | 458 |

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | |
|-------------|--------|-------|------|
| | | 騰 落 率 | 率 |
| (期 首) | 円 | | % |
| 2022年10月12日 | 10,022 | | — |
| 10月末 | 10,022 | | 0.0 |
| 11月末 | 10,021 | | △0.0 |
| 12月末 | 10,020 | | △0.0 |
| 2023年1月末 | 10,020 | | △0.0 |
| 2月末 | 10,020 | | △0.0 |
| 3月末 | 10,020 | | △0.0 |
| 4月末 | 10,020 | | △0.0 |
| 5月末 | 10,019 | | △0.0 |
| 6月末 | 10,019 | | △0.0 |
| 7月末 | 10,019 | | △0.0 |
| 8月末 | 10,018 | | △0.0 |
| 9月末 | 10,018 | | △0.0 |
| (期 末) | | | |
| 2023年10月12日 | 10,018 | | △0.0 |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年10月13日～2023年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,022円の基準価額は、期間末に10,018円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

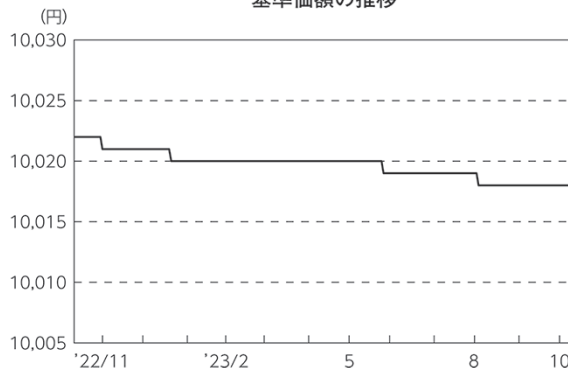
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



| 期首 | 期中高値 | 期中安値 | 期末 |
|------------|------------|------------|------------|
| 2022/10/12 | 2022/10/13 | 2023/08/03 | 2023/10/12 |
| 10,022円 | 10,022円 | 10,018円 | 10,018円 |

○1万口当たりの費用明細

(2022年10月13日～2023年10月12日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|---------------|-----------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 円 0 (0) | % 0.000 (0.000) | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 0 | 0.000 | |
| 期中の平均基準価額は、10,019円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年10月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年10月12日現在)

2023年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 460,554 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 460,554 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年10月12日現在)

| 項 | 目 | 当 | 期 | 末 |
|----------------|-----------------|---|---|--------------|
| (A) 資産 | | | | 円 |
| | コール・ローン等 | | | 460,554,227 |
| (B) 負債 | | | | |
| | 未払解約金 | | | 460,554,227 |
| | 未払利息 | | | 2,542,153 |
| | | | | 2,541,999 |
| | | | | 154 |
| (C) 純資産総額(A-B) | | | | 458,012,074 |
| | 元本 | | | 457,205,640 |
| | 次期繰越損益金 | | | 806,434 |
| (D) 受益権総口数 | | | | 457,205,640口 |
| | 1万口当たり基準価額(C/D) | | | 10,018円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は559,411,728円、期中追加設定元本額は65,398,257円、期中一部解約元本額は167,604,345円です。

(注) 2023年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

| | | | |
|--|--------------|--|------------|
| ・グローバル・プロスペクティブ・ファンド | 237,562,073円 | ・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型) | 1,008,393円 |
| ・中華圏株式ファンド (毎月分配型) | 61,601,208円 | ・インデックスファンドMLP (1年決算型) | 873,815円 |
| ・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース | 39,403,892円 | ・S M B C ・日興 世銀債ファンド | 817,802円 |
| ・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース | 16,912,508円 | ・エマージング・プラス・円戦略コース | 690,677円 |
| ・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド) | 12,476,397円 | ・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし) | 553,224円 |
| ・エマージング・プラス(マネーボールファンド) | 9,883,036円 | ・D C世界株式・厳選投資ファンド | 472,243円 |
| ・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし) | 9,797,265円 | ・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジあり | 421,031円 |
| ・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> (毎月分配型) | 9,153,672円 | ・世界標準債券ファンド (1年決算型) | 260,591円 |
| ・インデックスファンドMLP (毎月分配型) | 7,091,485円 | ・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり) | 198,309円 |
| ・アジア・ヘルスケア株式ファンド | 6,597,366円 | ・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型) | 117,667円 |
| ・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース | 6,192,802円 | ・上場インデックスファンド海外新興国株式 (MSCIエマージング) | 99,902円 |
| ・世界標準債券ファンド | 6,082,942円 | ・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジあり) | 48,754円 |
| ・ビッグデータ新興国小型株ファンド (1年決算型) | 5,821,782円 | ・グローバル・ハイブリッド・プレミア (為替ヘッジなし) | 22,949円 |
| ・エマージング・プラス・成長戦略コース | 3,018,587円 | ・上場インデックスファンド海外先進国株式 (MSCI-KOKUSAI) | 19,997円 |
| ・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド (毎月分配型) 為替ヘッジなし | 3,000,903円 | ・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) | 19,983円 |
| ・アジアリートファンド (毎月分配型) | 2,676,160円 | ・上場インデックスファンド豪州リート (S&P/ASX200 A-REIT) | 19,977円 |
| ・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり) | 2,538,599円 | ・上場インデックスファンド新興国債券 | 9,981円 |
| ・グローバル・ダイナミックヘッジα | 2,517,567円 | ・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジあり) | 9,979円 |
| ・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース> (毎月分配型) | 1,963,920円 | ・上場インデックスファンドフランス国債 (為替ヘッジなし) | 9,979円 |
| ・インド株式フォーカス (奇数月分配型) | 1,797,541円 | ・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジなし) | 9,978円 |
| ・グローバル株式トップフォーカス | 1,696,908円 | ・上場インデックスファンド豪州国債 (為替ヘッジあり) | 9,978円 |
| ・グリーン世銀債ファンド | 1,451,090円 | ・上場インデックスファンド米国株式 (S&P500) 為替ヘッジあり | 9,967円 |
| ・アジアREITオープン (毎月分配型) | 1,224,190円 | ・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジなし) | 9,958円 |
| ・日興マネー・アカウント・ファンド | 1,018,655円 | ・上場インデックスファンド米国債券 (為替ヘッジあり) | 9,958円 |

(注) 1口当たり純資産額は1,0018円です。

○損益の状況

(2022年10月13日～2023年10月12日)

| 項 | 目 | 当 | 期 |
|----------------|------------|---|-----------|
| (A) 配当等収益 | | | 円 |
| | 受取利息 | △ | 198,410 |
| | 支払利息 | | 939 |
| (B) 保管費用等 | | △ | 199,349 |
| (C) 当期損益金(A+B) | | △ | 102 |
| (D) 前期繰越損益金 | | △ | 198,512 |
| (E) 追加信託差損益金 | | | 1,218,941 |
| (F) 解約差損益金 | | | 129,627 |
| (G) 計(C+D+E+F) | | △ | 343,622 |
| | 次期繰越損益金(G) | | 806,434 |

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2022年10月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引の利用目的を明確化するべく、2023年7月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第16条、第17条、第18条)